

	課題・実習の提出先: manaba 「レポート」	実習・課題: 提出物のファイル形式に関する一般的注意
<p>#08 ポイントと配列 実習・課題内容 2022 年度 / プログラミング及び実習 III</p> <p>角川裕次</p> <p>龍谷大学 先端理工学部</p> <p>1 / 10</p>	<p>manaba 「レポート」の今回の提出先へ提出のこと</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル名は指定の通りにすること ■ ファイル形式は指定の通りにすること ■ 守られていない場合は採点しない場合がある (採点作業の軽減への協力を宜しく) <p>提出ファイル不足(特に「説明と考察」): その回は 0 点とする場合あり</p> <p>2 / 10</p>	<p>C 言語ソースコード (プログラムコード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 一文字づつ手打ちで入力: 体を動かして頭の中に叩き込む ■ ファイル形式: C ソースファイル (.c; ファイルそのもの) ■ (不可: スクリーンショット画像や Word に流し込んだものなど) <p>実行結果スクリーンショット画像</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: 画像ファイル形式 (.jpeg や .png など) ■ スクリーンショット取得ツールを使用のこと. ■ (不可: デジカメによるディスプレイ撮影画像) <p>説明と考察: プログラム及び実行結果に対する説明と考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: テキストファイル (.txt) ■ 指定文字数以上の「説明と考察」を書くこと. ■ 講義で学んだ C 言語の機能とからめて説明 ■ (不可: Word や PDF など) ■ (不可: ソースコードの「朗読」. 「朗読」は説明や考察でない) <p>3 / 10</p>
	実習 A	実習 B
<p>実習</p> <p>4 / 10</p>	<p>p.293, List 10-9 (配列の要素のアドレスの表示) の理解・入力・実行・動作確認</p> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ j08a.c (C 言語ソースコード) ■ j08a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜) ■ j08a.txt (説明と考察 300 文字以上), <p>5 / 10</p>	<p>p.298, List 10-11 (配列の受け渡し) の理解・入力・実行・動作確認</p> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ j08b.c (C 言語ソースコード) ■ j08b (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜) ■ j08b.txt (説明と考察 300 文字以上), <p>6 / 10</p>

	課題	課題 (説明のつづき)
課題	<div>(教科書にはありません) 要素型が int 型で要素数が n の配列 a を受け取り, 各 i ($0 \leq i < n$) に対し $a[i] = \sum_{k=0}^i k$ を (できるだけ効率よく) 代入する関数 set_sum を作成せよ.</div> <div>■ main 関数も作成して動作確認</div> <div></div>	<div>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</div> <div><ul style="list-style-type: none">■ k08a.c (C 言語ソースコード)■ k08a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)■ k08a.txt (説明と考察 400 文字以上),</div> <div>ヒント: ソースファイルの超大雑把な構造</div> <div><pre>ヘッダをインクルード void set_sum(int n, int a[]) { ここを書く } #define N 20 int main(void) { int a[N]; set_sum(N, a); a の内容を表示 (動作結果確認用) return 0; }</pre></div>
おわり		